

シフトポジションインジケータ
SHIFT POSITION INDICATOR (K36)
【'93~'01 ZZ-R1100 (ZXT10D)】

車種専用ハーネスキット
車種専用キット共通

取扱説明書

セット内容

- 専用ハーネス(HS-K71) ●PG-110スピードセンサー(3Pカプラー仕様)
- PG-110用ステー (PGST-07) ●マグネット(1.5mm厚)、ドーナツ型テープx各8枚
- チェック用LED ●エレクトロタップ(赤) ●タイラップ(142mm)x8本
- SPI-K36車種専用キットはシフトポジションインジケータ本体が付属しております。
- HS-K36ハーネスキットにはシフトポジションインジケータ本体は含まれません。
- 別売りのSPI-110シフトポジションインジケータ本体(No.11014またはNo.11050)が必要です。

注意事項

- 本説明書は'93 ZZ-R1100(D1) に対応する内容で記載致しております。
車両メーカー発行のサービスマニュアルを参照いただき作業を行ってください。
- SPIメーター本体の裏面にはスイッチがあります。
付属の両面テープを貼り付けて、水が浸入しないように注意してください。
- 取り付けは説明書に沿って正しく行ってください。説明書記載以外の方法での
取り付けは火災・事故などの原因になる事があります。ご注意ください。
- 本製品の使用により生じた事故・故障などいかなる損害においても当社は
一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 製品に不具合が発生し、修理や返品の際に生じた工賃・送料などいかなる費用
について、当社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。

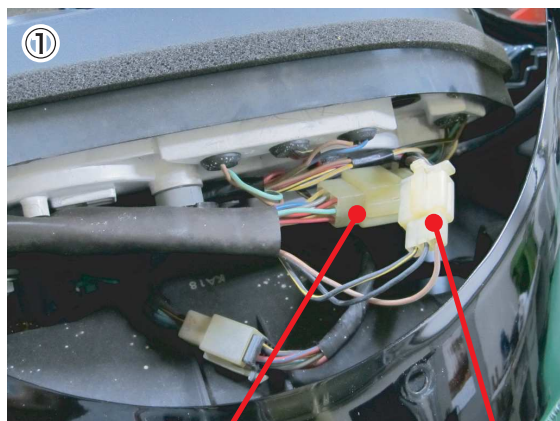
取り付け方法

※本説明書では製品の取り付けのみ解説いたします。
車両メーカー発行のサービスマニュアルを参考に作業してください。

【取り付け作業の準備】

※作業の際は必ずキーOFFで行ってください。

- ①スクリーン、メーター周りのカバー順に外します。
- ②白3Pカプラーを分割します。
白9Pカプラーの若草色のニュートラルマイナス線を確認します。

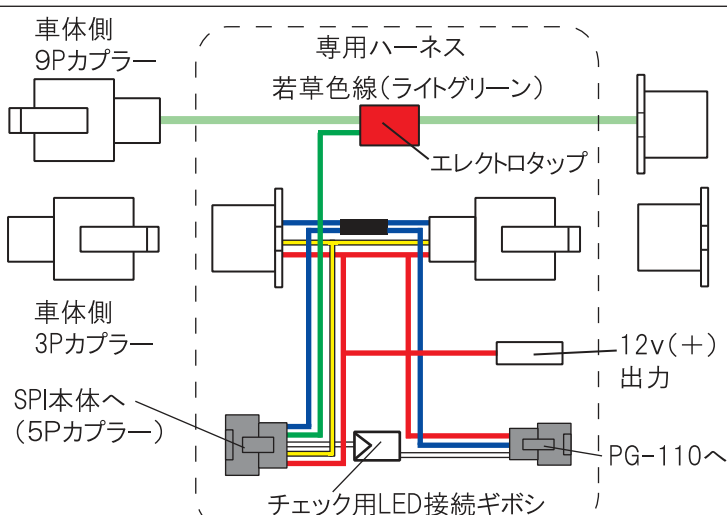


若草色 (ライトグリーン)
ニュートラルランプソケット
スイッチ側のマイナス線

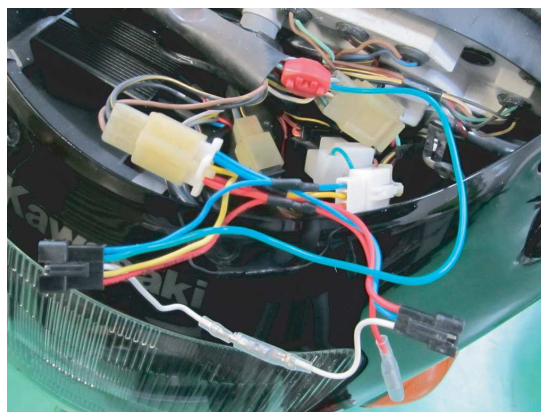
白3Pカプラーは
タコメーターハーネス
になります。

【専用ハーネスの取り付け】

- ①専用ハーネス3Pカプラーを車体側の白3Pカプラーと接続します。
- ②専用ハーネス5Pカプラーの緑色線を、車体側白9Pカプラーの
若草色線にエレクトロタップを使って割り込ませます。



※専用ハーネスの赤コード(メスギボシ)は12V(+)出力端子です。
弊社[盗難警報機CS-550M]の接続を始め、アクセサリ電源
として多目的に活用頂けます。



【SPI本体の取り付け】

- ①SPI本体を見やすい位置に貼り付けます。

※ 後で、ギアポジションの登録及び、シフトアップインジケータの
設定を行いますのでSPI本体は仮付けにしてください。

【車種専用キットはギアポジションデータが登録されております。】

※ギアポジションデータは、リアスプロケが45丁の減速比です。
年式により44丁の車両は再設定が必要になります。



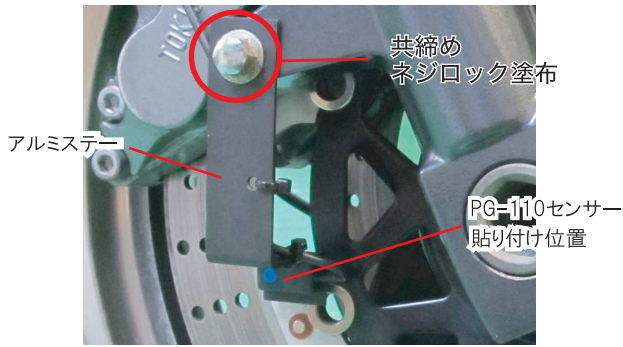
- ②SPI本体のコードを専用ハーネスまで通し、専用ハーネスの
5Pカプラーと接続します。

※ ハンドルを左右に切った際、SPI本体のコードに無理な力が
加わらないよう取り回し、SPI本体のコードは車体側ハーネスなど
にタイラップで固定してください。

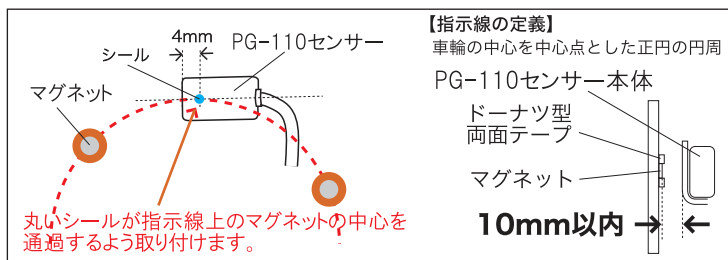
裏面へつづく

【PG-110 スピード信号センサーの取り付け】

- ①PG-110センサーをアルミステーへ貼り付けます。
 - ②PG-110センサー用アルミステーを画像の○で示したフロントフォーク右側のキャリパー取り付けボルトで共締めします。
- ※キャリパーボルトはネジロックを塗り規定トルクで締め付けます。



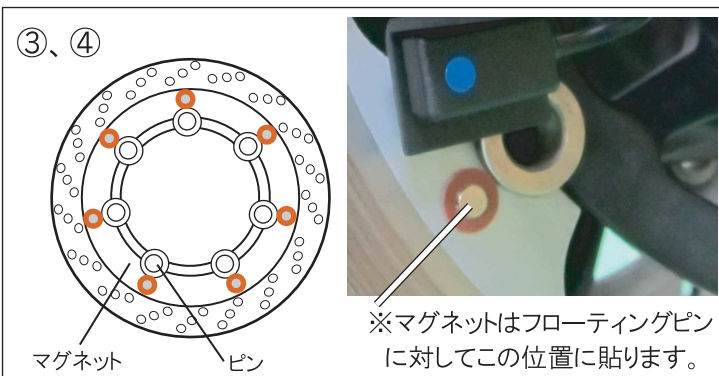
下の枠内の注意点を参考に
フロントディスクローター(右側)にマグネットを7箇所貼付けます。



純正以外のブレーキディスクローターを装着した車両において
説明書通りにマグネット7枚を等間隔に貼れない場合は、
マグネットは3枚以上使い、等間隔になる条件で取付けます。
この場合、ギアポジションの再設定の必要があります。

- ③ドーナツ型のガイドテープをディスクローターのフローティングピンを目安に等間隔に貼ります。
- ④マグネットを市販の金属用ボンド使って貼り付けます。
※マグネットは必ずホイール中心部に対し等間隔に配置します。
7つあるローターディスクピンを目安にしてください。

ユニシ製G17ボンド推奨



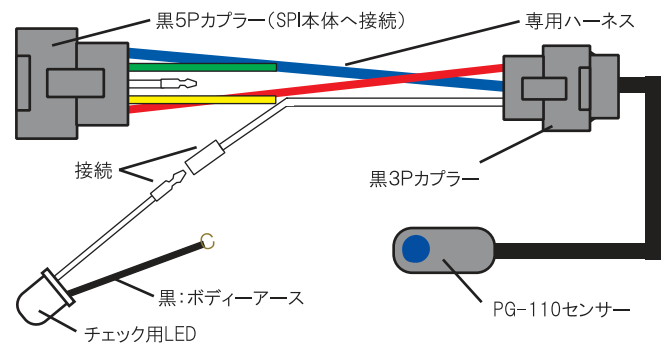
- ⑤PG-110のコードはメーターケーブルに沿ってタイラップで縛り、巻き込みやストローク時に引っ張られないように取り回し、専用ハーネスまで通します。
※コードに無理なストレスが加わらないように取り回してください。
- ⑥PG-110センサー3Pカプラーを専用ハーネスの3Pカプラーへ接続してください。余ったコードは束ねてタイラップで結束します。

【PG-110センサーとマグネットの位置をチェック】

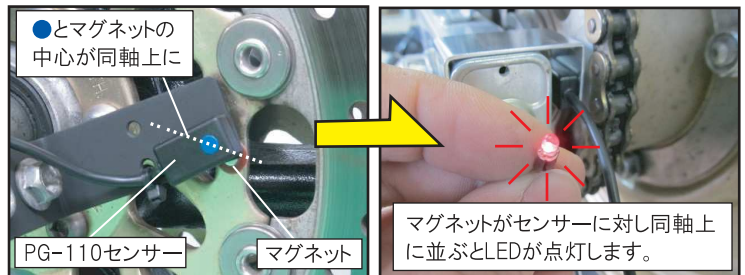
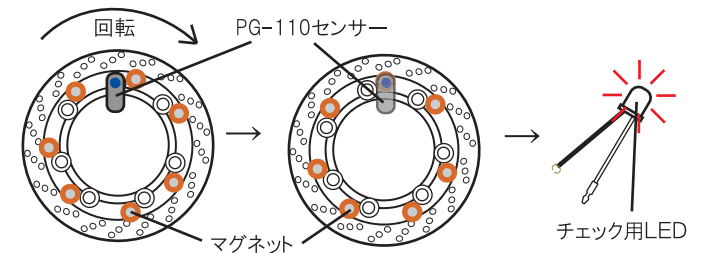
- ①専用ハーネスの黒5Pカプラーと、黒3Pを繋いでいる白線のギボシ端子を外し、チェック用LEDの白線を専用ハーネスの黒3Pカプラーの白線へ接続します。
- ②チェック用LEDの黒線をボディーアースに接続します。
- ③ギアをニュートラルに入れ、キーONにし、フロントホイールをゆっくり回転させ、マグネットがPG-110センサーを通過する時にLEDが点灯し、通り過ぎたら消える事を全てのマグネットにて確認してください。全て点灯していれば正常です。

※12vの電源が取れていないとチェック用LEDは点灯しません。

PG-110センサーとマグネットの位置調整確認用LEDの接続図



チェック用LEDの確認方法



※全てのマグネットにおいてLEDが点灯しない場合は電源が入っていないか、センサーとマグネットの間隔が離れ過ぎていますのでマグネットとセンサーの間隔を調整してください。

※チェック終了後はチェック用のLEDを外し、必ず専用ハーネス白線のギボシ同士を接続してください。

※チェック用LEDは12vの電圧で点灯致しますので、チェック終了後多目的にご利用頂けます。

■メーターカバー、スクリーンを元に戻して完了です。

各ギアポジションの登録、シフトアップインジケーター登録、及びエラー表示の詳細は別売りのSPL-110C1 シフトポジションインジケーター(5Pカプラー仕様)の取扱説明書をご覧ください